

# 事業の概要

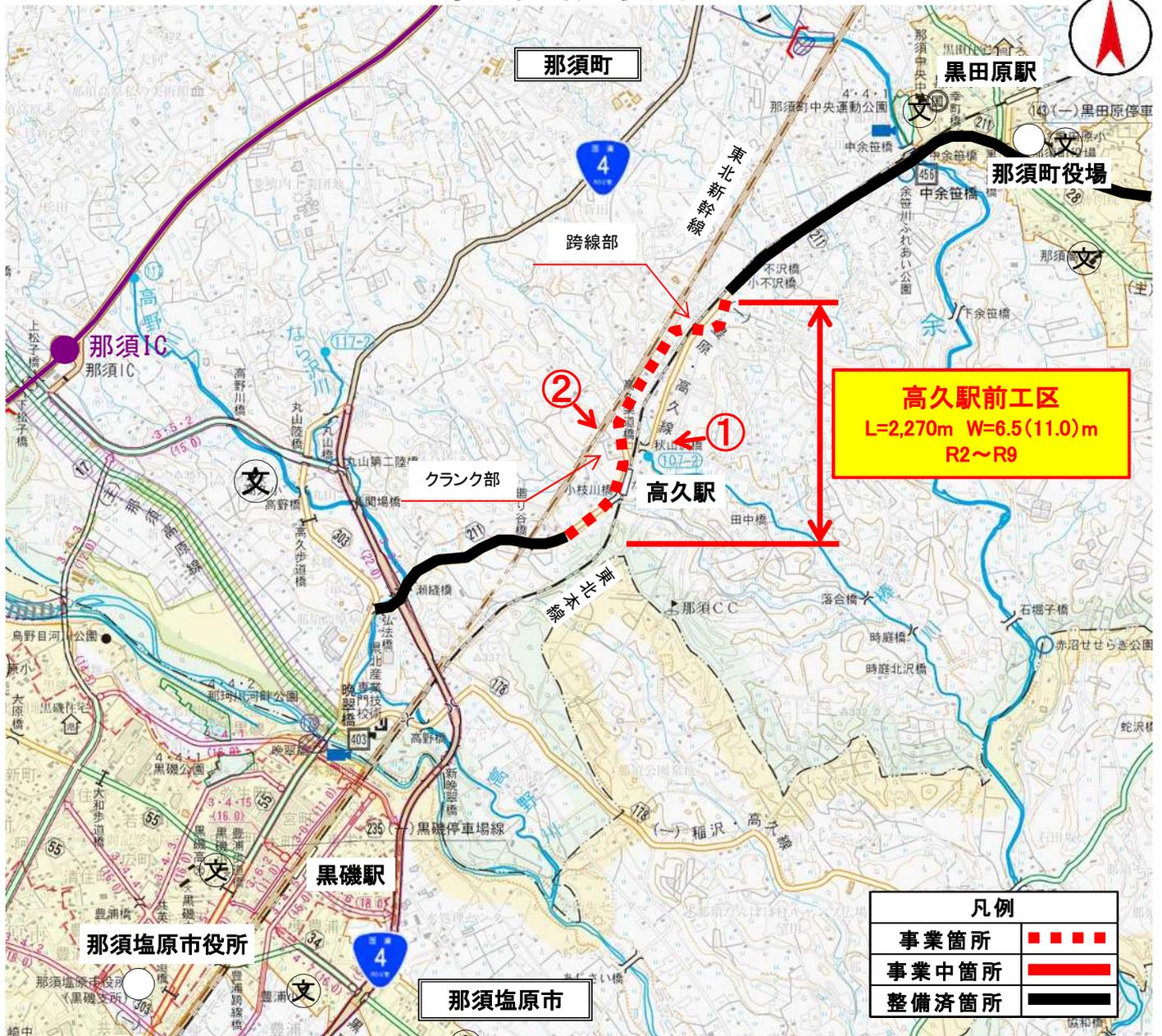
担当課：道路整備課

事業名	快適で安全な道づくり事業		事業主体	栃木県
事業箇所	一般県道豊原高久線 高久駅前工区 那須町高久甲			
<b>事業の目的、事業発案の経緯・背景</b> 一般県道豊原高久線は、那須町黒田原地区と那須塩原市を連結し、沿線地域の日常生活を支える主要な幹線道路であるとともに、東北縦貫自動車道那須ICにアクセスするなど那須町東部地域における産業や経済を支える重要な路線となっている。 しかしながら、本事業区間は、JR東北本線との立体交差前後の線形がクランク状に屈曲していることに加え、道路幅員も狭小(6.0m)であることから、大型車のすれ違いが困難となるなど、円滑な通行に支障を来している。また、JR東北本線高久駅前であり、黒田原小学校のスクールバス乗降場があるにもかかわらず、歩道が未整備であるため、児童等の安全確保も課題となっている。 このため、本事業により、整備の中抜け区間である本事業区間において、現道の拡幅整備に加えJR東北本線との交差点についてはバイパスを整備することにより、安全で円滑な交通の確保を図るものである。				
<b>事業内容</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>車線数は将来交通量を見据え2車線とする。</li> <li>ルートは、駅へのアクセスや沿線の土地利用を考慮し現道拡幅を基本とするが、JR東北本線との交差点については、安全性、経済性の観点からバイパス形式とする。</li> </ul>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>総延長：2,270m</li> <li>計画交通量：8,600台/日(令和12年度)</li> <li>道路区分：第3種第2級</li> <li>車線数：2車線</li> <li>標準幅員：11.0m(車道6.5m、歩道2.5m、路肩1.0m×2)</li> </ul>				
事業予定期間	令和2年度～令和9年度	事業見込額及び内訳	総事業費	約13億円
	用地調査：令和2年度～ 用地取得：令和2年度～令和6年度 工事実施：令和6年度～令和9年度		事業費内訳	測量設計費：約1億円 用地補償費：約4億円 工事費：約8億円
			財源内訳	国費：50% 県費：50%
<b>事業概要図</b> 別紙記載				
<b>県計画への位置付け</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>「県土づくりプラン2016」：地域の活性化を支える「道路網」の整備として位置づけられている。</li> <li>「とちぎ道づくりプログラム」：地域を支える交通ネットワークの充実・強化【前期5年着手】として位置づけられている。</li> <li>「那須都市計画区域の整備、開発及び保全の方針」：拠点地区間や周辺地域との移動や連携を促進する都市内連携軸として位置づけられている。</li> </ul>				
<b>他計画・他事業との関連</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>那須町都市計画マスタープラン：生活の基幹軸道路として位置づけられている。</li> </ul>				

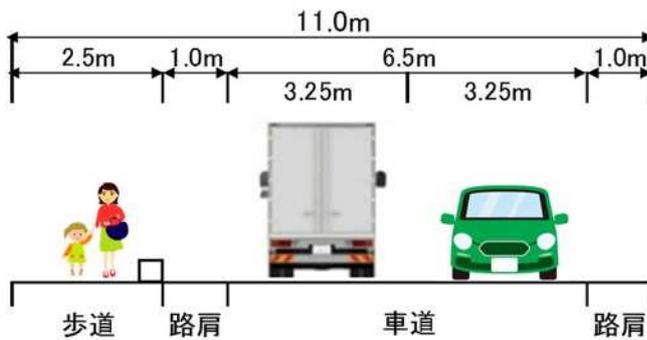
# 事業の評価

評 価 の 視 点	1. 事業の必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全で円滑な通行を確保するため、道路線形の改良（一部バイパス）及び道路幅員（2車線）の確保が必要であること。</li> <li>歩行者の安全を確保するため、歩道の整備が必要であること。</li> </ul>
	2. 事業の適時性 （今事業に着手する理由等）	<ul style="list-style-type: none"> <li>前後区間が整備済みであり、整備の中抜け区間となっていることから、本工区を整備することにより道路機能の向上を図る必要がある。</li> <li>事業の実施に必要となる地籍調査の登記が令和2年度完了することから、整備に着手する。</li> </ul>
	3. 事業の適地性	<ul style="list-style-type: none"> <li>ルートは、駅へのアクセスや沿線の土地利用を考慮し現道幅員を基本とするが、JR東北本線アンダー部は幅員整備が困難であり、かつ多額の費用を要するため、一部をバイパスとした。</li> </ul>
	4. 事業手法の適切性 （県が事業主体となる理由等）	<ul style="list-style-type: none"> <li>一般県道豊原高久線の現道幅員及びバイパス事業であり、道路管理者として、県が事業を実施する。</li> </ul>
	5. 事業により予想される効果及び影響 （機能的な効果 ・経済的な効果 ・他計画、他事業への波及効果 ・環境への影響など）	<ul style="list-style-type: none"> <li>○投資効果                         <ul style="list-style-type: none"> <li>・費用便益比（B/C） 1.9</li> <li>・総便益（B） 20.2億円 ※供用後50年間の効果を金銭に換算したものの走行時間短縮(18.2)、走行経費減少(1.8)、交通事故減少(0.18)</li> <li>・総費用（C） 10.4億円 ※建設費と供用後50年間の維持管理費を含む</li> </ul> </li> <li>○道路幅員の確保（車道2車線、片側歩道）及び道路線形の改良により、安全で円滑な通行が確保される。</li> <li>○JR東北本線高久駅へのアクセス道路の整備により、交通結節機能の強化が図られる。</li> <li>○那須町と那須塩原市の連携が強化され、那須地域定住自立圏構想の支援が図られる。</li> </ul>
	6. 事業コスト縮減等の可能性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・JR東北本線の交差構造について、軌道への影響及び橋長が最小になる箇所での架橋を行うことで、コスト縮減を図る。</li> <li>・側溝を無蓋化することにより蓋版補修等の維持管理コスト縮減を図る。</li> <li>・再生材の利用や、建設発生土の公共工事間流用に努め、コスト縮減を図る。</li> </ul>
事業の対応方針(案)	本事業については、令和2年度より着手する。	

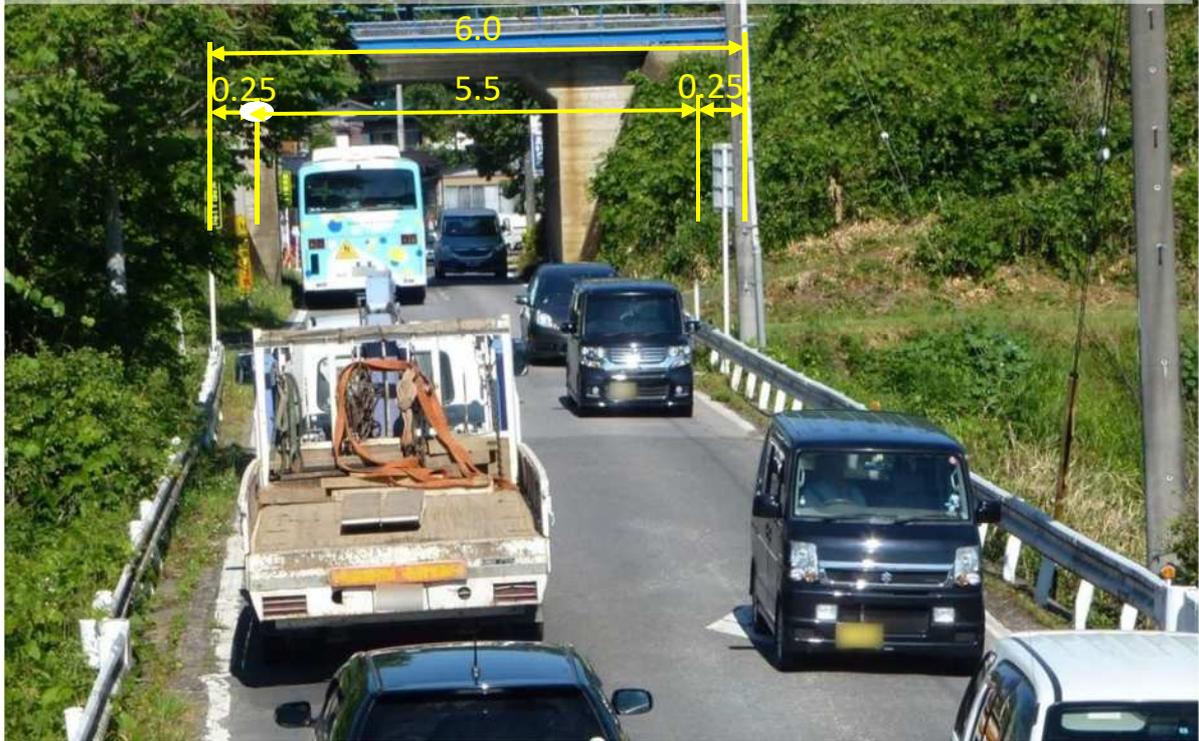
# 事業概要図



【標準横断面図】



① JR東北本線立体交差部のすれ違い困難状況



② クランク状の線形と歩道未整備による危険箇所

